



ほのかなる 空の匂いや 秋の晴 (高浜虚子)

澄み切った青空が広がり、本当に気持ちの良い季節になりました。外で体を動かすのもいいでしょう、また家の中で読書をするのもいいでしょう。みなさんにとって気持ちいい活動を積極的にしてみましょう。きっと有意義な時間になるはずです。

素敵な子どもたち

私の好きな言葉の一つに「素敵」という言葉があります。素敵な男性、素敵な女性、素敵な服、素敵な絵、素敵な〇〇。「あなたは素敵な人ですね」と言われたらうれしいものですよ。今回は、私がこれまで出会った素敵な子どもを紹介してみます。



素敵な子ども1 「教室で花を活けていた生徒」

朝の教室で一人、花を花瓶に活けている女子生徒の姿をみました。その子は当番ではなかったのですが、誰も見ていない教室できれいな花をそっと活けていました。朝からとても気持ちの良い光景に出会いました。

素敵な子ども2 「車に会釈をして通った生徒」

出勤途中、ある学校近くの横断歩道前で女生徒が立ち止まっていたので、車を止め、女生徒が通り過ぎるのを待ちました。その子は横断歩道を渡り終え、こちらに向かって小さく会釈をしてくれました。その日はとても気持ちの良い一日でした。

素敵な子ども3 「お年寄りに席を譲る生徒」

ある日、匿名のおばあさんから学校に電話がかかってきてこう言われました。「お宅の学校の生徒さんは素晴らしいですね。私がバスに乗ったところ、『どうぞ』と言って席を譲ってくれました。とてもうれしかったので電話をさせていただきました」と。生徒が誇らしく思えました。

素敵な子ども4 「トイレ掃除を一生懸命にする生徒」

トイレ掃除は、臭くて汚いからなのでしょう、子どもたちにとって人気のない掃除場所です。でも、トイレの床に両ひざをついて一生懸命に雑巾をかける生徒がいます。「トイレ掃除をする人は心のきれいな人だ」とよく言われます。私も本当にそのように思います。いつもきれいなトイレを使うことができるのはこのような生徒がいるからなのです。

このような子どもたちは人に見てもらい、褒めてもらおうと思ってしているわけではないでしょう。自然とそんな行動ができているのだと思います。だからこそ、そのような子どもたちの姿を見た時にはこちらまで温かい気持ちになるのでしょう。

子どもを育てたお父さん、お母さんの顔が浮かんでくるようです。きっと家庭の中でも、お父さん、お母さん自らが素敵な姿を子どもに見せておられるのでしょう。

防府にもこのような素敵な子どもたちがいますし、またこれからどんどん増えてくるとよいですね。